

「先輩たちに聞いてみました!」



2026 版②

✿ C 保育士 38 歳

(ロング保育士として R2 年度より勤務、今年度2度目の育休復帰、部分休業取得中)

Q. 育休復帰に向けての準備や心構えは?

A. 一人目のときは配偶者と話し合い、子どもの体調不良時には必ず交代で休みを取ろうと決めました。二人目のときは育休前の生活リズムに戻し、朝の支度や家事を前日のうちに済ませるようにしましたが、思った以上に大変でした。完璧を目指すのではなく、自分のペースを大切に「今は慣れる時」「今日はお惣菜活用日」など、割り切るようにしています。

Q. 仕事を続けてよかったことは?

A. 同じ職場に復帰でき、慣れたところで安心して保育することができます。自分の子育ての経験から見通しを持ちながら保育ができ、仕事で得た気づきを自分の子育てに活かすなど、相互にプラスになっていると感じています。部分休業を活用して子どもとしっかり向き合ってから家事をするなど、無理なく切り替えもできています。配偶者と家事を分担し、二人で家事や育児をしていると感じられます。

✿ D 支援員 60 歳

(延長パートとして H23 年度より勤務、その後子育て支援員の資格を取得)

Q. 延長パートとして勤務しようとしたきっかけは?

A. 子育てが一段落し、就労を考えていた時、知り合いの保育士から延長パートという仕事があることを聞きました。夕方からの短い時間であり、お子さんと遊ぶことや絵を描くことなどが好きだったので、やってみようと思いました。

Q. 子育て支援員の資格を取り、仕事を続けてきてよかったことは?

A. 支援員の資格は園長先生に勧められて受けてみました。子育ての経験はありましたが、理論的に教わることで、納得したり安心したりし、自分の自信にもなりました。支援員の資格があると時給も上がるので、励みになりました。お子さんや保護者の方、一緒に働く方など多くの方と知り合うことができ、お子さんから「先生、先生」と慕われると嬉しくなります。お子さんを楽しく安全に預かれるよう先生方との情報共有を大切に、また楽しく仕事ができるようお互いを尊重して働くよう心がけています。